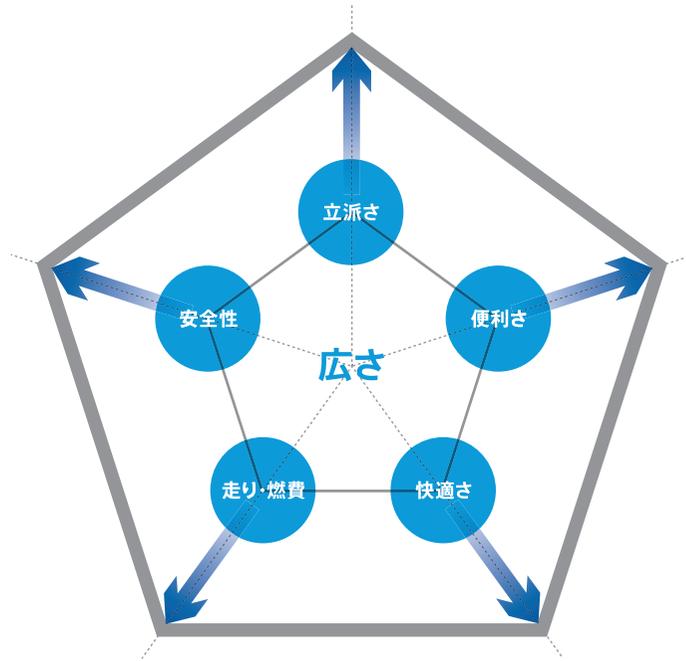


お客様の求めるものをつくるのは当たり前。 大切なのは、それよりもう一步先



N-WGN 開発責任者
人見 康平(ひとみ こうへい)
(株)本田技術研究所 主任研究員

1984年、(株)本田技術研究所 入社。ドア、外装まわりの設計を経て、02年ザッツ、04年エリシオンのLPL代行などを歴任。07年フィット、10年フィット ハイブリッド、11年フィット シャトルに続いて今回、N-WGNのLPLを務める。愛車は2台のフィットと、NSX。

「一人でも多くのお客様に喜んでいただける自動車をつくりたい」その思いが、今回の「N-WGN」を開発するにあたって、私を、そしてスタッフたちを突き動かす原動力になりました。自動車の開発に携わる者として、完成したクルマが街を走り、お乗りの方に喜んでいただいている様子を見るのは何にも代えがたいよるこび。そうしたシーンにひとつでも多く出会いたかったのです。

だからこそ、お客様が軽自動車に求めるものを、「全て持っているクルマ」をつくらうと考えました。燃費が良く、広々とした室内と荷室があり、遠くへ行きたくなるような快適さと、所有の喜びを満たす立派さを持ち、毎日安心して乗ることのできる安全性を持つこと。すなわち、「欲張りなクルマ」を目指しました。

——しかし、それだけでは私たちは満足しません。大切なのは、もう一步先です。

「お客様が求めるもの」をつくるにとどまらず、全てをランクアップさせ、本当に「良いもの」を、軽自動車の新しいベーシックとして送り出し、お客様の想像を超えるよるこびを提供することに力を尽くしました。お客様以上に、私たちは「欲張り」なのです。

高い目標を追い続ける開発には困難も伴いましたが、開発、生産、Hondaのあらゆる分野のスタッフたちの熱い想いで、「一人でも多くのお客様に喜んでいただける」軽自動車をつくり上げることができたと確信しています。